

# 英語『で』教える

企画運営：名古屋大学高等教育研究センター[質保証を担う中核教職員能力開発拠点]

2022年~~10月5日(水)・6日(木)~~ 9:30-17:00  
**11月9日(水)・10日(木)**

スケジュールの詳細は裏面をご参照ください。

会場：名古屋大学東山キャンパス文系総合館 5階

アクティブラーニングスタジオ

講師：Yolanda Cerda

英国 リーズ大学言語センター センター長

Mick Parkin

英国 リーズ大学言語センター 副センター長



**概要** 本セミナーは、英語を教授言語として授業をしている教員、およびこれから担当する教員を対象に、英語で授業をする際、専門分野を問わず広く活用できる効果的な教授法を紹介します。参加者は、少人数制や英語で行う授業での授業設計の工夫、ならびに授業で英語を使用することによる利点を学ぶことができます。

1日目は大学での教育経験が浅い方向けの内容です。

2日目は大学での教育経験が一定程度ある方向けの内容です。

両日とも参加者による短い模擬授業もしくは口頭発表を行います。セミナー終了後も8週間以内であれば送った動画に詳細なフィードバックを提供します。

参加者は、希望するセッションを自由に選んで参加できます。

※1日目の1~5セッション全て、または2日目の6~10セッション全てを受講された方には、リーズ大学より参加証が発行されます。

**対象** 英語による授業に関心を持つ**本学**大学教職員

**参加資格** CEFR B2レベル以上

**使用言語** 英語

**お申込み** 参加希望のセッション、氏名、所属、専門分野、英語での授業経験年数、大学教育経験年数を下記より申し込み願います。

<https://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/>

**定員** 各回30名（定員に達し次第、締め切ります）

**申込期限** ~~9月16日(金)~~  
**10月20日(木)**

※いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

※ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。

**お問合せ** 名古屋大学高等教育研究センター [info@cshe.nagoya-u.ac.jp](mailto:info@cshe.nagoya-u.ac.jp)

	9:30-10:30		10:45-11:45		13:00-14:00		14:15-15:45		16:00-17:00
11/9 <del>10/5</del> (水)	セッション1	休憩	セッション2	昼食	セッション3	休憩	セッション4	休憩	セッション5
11/10 <del>10/6</del> (木)	セッション6		セッション7		セッション8		セッション9		セッション10

~~10/5~~ (水)  
11/9

### セッション 1：英語による授業への導入

英語で授業を行う際の一般的な留意点や、学生の学習を促すための技法について紹介します。

### セッション 2：明快な説明をする技法

英語での講義を明快なものにするために必要な、言葉の使い方、内容の構成方法、ボディランゲージの使い方、視覚教材の使い方を紹介します。

### セッション 3：授業に学生参加を取り入れる

学生との双方向のやりとりを授業の中に取り入れた授業の実施計画を実際に作成してみます。

### セッション 4：模擬授業

参加者の専門分野に関する短時間の模擬授業を行い、相互フィードバックを行います。  
(参加者数に応じて時間を変更する場合があります)

### セッション 5：学習評価とフィードバック

学習評価の基礎と英語で学生へのフィードバックを行う技法について紹介します。

~~10/6~~ (木)  
11/10

### セッション 6：多人数授業とICTの活用

多人数の授業において、ICTの活用によって学生との双方向のやりとりを取り入れる技法を紹介します。

### セッション 7：少人数授業と発問の活用

少人数授業や研究指導を行う教員向けに、学生参加の技法や質疑応答を行うための技法を紹介します。

### セッション 8：理解しやすい説明のための英語

学習内容の構造を理解しやすいよう、話の展開や接続を効果的に行う英語技法を扱います。

### セッション 9：研究ショートトーク

参加者の研究内容について、非専門家に向けて短時間で紹介し、相互フィードバックを行います。  
(参加者数に応じて時間を変更する場合があります)

### セッション 10：多文化コミュニケーション

英語による授業で留意すべき文化的側面について紹介します。特に、知識獲得に対する態度、ネイティブ話者の考え方、自民族中心の教材の問題などを紹介します。

## 講師紹介



### Yolanda Cerda

リーズ大学 言語センター センター長。英国内にとどまらず、世界各地で外国人スタッフや留学生を指導し、現職の語学教師やその予備軍を導いてきた。研究テーマは言語学、言語教師教育、異文化間コミュニケーション。



### Mick Parkin

リーズ大学 言語センター 副センター長。さまざまな学術プログラムにおける特任英語教師・プログラムリーダー・パーソナルチューターとして、同センターで20年以上にわたり留学生と関わってきた豊富な経験を持つ。世界各国からの留学生の受入れにも携わり、英語力、学習スキル、異文化順応力に対する学生のニーズと、そのニーズを満たすために教員が身につけるべきスキルを熟知する。